

学生諸君、教職員、父母の皆さま明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

昨年3月の東日本大震災で亡くなられた方々、被災された方々のことを考えますと、「おめでとう」という言葉は新年といえども控えなくてはならないのでしょうかが、逆に本年こそは良い年になつてほしいという願望を込めてあえて使いました。

つらいことを本当に忘れる事はないでしょうが、月日の経過はそれを徐々に薄れさせてくれるといわれます。でも年が改まったからといって一年もたつてないこの時期で、被災された方々のつらい気持ちが薄れるなどということはないでしょう。むしろ私たち国民の多くが、そのことを次第に忘

なられた方々、被災された方々のことを考えますと、「おめでとう」という言葉は新年といえども控えなくてはならないのでしょうかが、逆に本年こそは良い年になつてほしいという願望を込めてあえて使いました。

本当に大切なものは何かと考え

かにも世界的には欧州の「国家信用危機」、アラブ諸国の民主化革命など歴史的転換とも思われる事件が相次ぎました。国内でも増税論議など国家財政やTPP参加問題を巡る議論が沸騰しました。こうした中、「国民幸福量」を大切にするブータンの若き国王夫妻が来日し、爽やかな風を送ってくれたことはとても印象的でした。

「欲望」がバブルを生み、破裂して多くの経済的災いを振りまいている中で、幸せを大切にする小さな国の生き方は、本当に大切なものは何かを私たちに考えさせてくれました。

来年の創立20周年は、実質的に本年からスタートします。記念事業として何をするかこれから議論しますが、記念になるものとあわせ、20年を機に本学が次の20年に向けて充実発展できるような体制づくりにも取り組みたいと思います。皆で一緒に本年から取り組みましょう。

CONTENTS

(2・3面)

〈学園探訪〉「情報システム学科」
2つのイベントで学んだ成果を披露
科学の祭典・国際ビジネスメッセ

デジコングランプリ3年連続入選

(4・5面)

韓国・慶熙大学と学術交流
2011「映画の中の市民社会」
私の研究テーマ
教員の活動(2011年下半期)

6面

学生茶会・燕喜館でお点前披露
ロシア語スピーチコンテストで優勝
湧源・編集後記に代えて
7面
企業懇談会・227社と情報交換

2月3・4日に学内合同企業説明会

平成24年度入試要項

(8面)

卒業生の便り
連携講座「わが映画人生」
「紅翔祭」を終えて(実行委員長報告)



今年こそは良い年になつてほしいと願う

れ始めているのではないかと心配しています。私たちはこの震災・原発事故を教訓とし、そして被害に遭われた方々のことを忘れることがないよう新年に当たつて気持ちを新たにしたいと思います。

昨年は本当にいろいろのことがありました。震災・原発事故のほかにも世界的には欧州の「国家信用危機」、アラブ諸国の民主化革命など歴史的転換とも思われる事件が相次ぎました。国内でも増税論議など国家財政やTPP参加問題を巡る議論が沸騰しました。こうした中、「国民幸福量」を大切にするブータンの若き国王夫妻が来日し、爽やかな風を送ってくれたことはとても印象的でした。

「欲望」がバブルを生み、破裂して多くの経済的災いを振りまいている中で、幸せを大切にする小さな国の生き方は、本当に大切なものは何かを私たちに考えさせてくれました。

大学自身も全国的に転換期にあります。本格的少子高齢化を迎え、国家財政が逼迫度を強めているか、教育の質をきちんと維持し、人材を育てているかなどが問われています。本学としてこうした課題に十分応えていかなくてはなりませんが、それには教職員の努力だけでなく、学生諸君の勉学・部活動などへの積極参加が必須です。どうかこのみずき野でもっと青春を謳歌し、活動してください。教職員はそれをしっかりとバッカアップしましょう。

2月3・4日に学内合同企業説明会

平成24年度入試要項

(8面)

卒業生の便り
連携講座「わが映画人生」
「紅翔祭」を終えて(実行委員長報告)

社会に役立つシステムを開発、使いこなす、

現代社会はグローバルに情報があふれ、IT関連ツールは時間を競っての開発、コンピュータを使った情報システムの多くの製品が家庭や企業で便利に使われ人間の社会活動を支えています。このように情報システムとは、さまざまな人間社会の営みや企業活動などに必要な情報を収集・蓄積し加工・伝達、利用に役立てる仕組みのことです。人間活動と企業や社会の組織、コンピュータやネットワークなどが互いにつながって成り立っています。

急速に進む情報化社会に対応で求められていますが、「情報システム学科」では最新の情報技術（IT）ばかりでなく、情報システム（IS）を理解し自在に活用できる、そし

ての開発、コンピュータを使つた情報システムの多くの製品が家庭や企業で便利に使われ人間の社会活動を支えています。

本学が開学した18年前はまだ「情報システム」という学科が目新しい時代でした。その後の目まぐるしい情報化時代の進展で他大学でも同じようなネーミングの学科が多く開設されました。しかし本学の特徴は文化系の学科ということであり、社会と人間の行動の仕組みを理解し、社会に役立つシステムを開発し「使いこなす」人材を育てています。

技術と社会性を併せ持つ人材育む



カリキュラムの内容は、情報システムが単にコンピュータを中心とした技術的なシステムではなく、人間活動に必要とされる社会的なシステムという広いとらえ方で幅広く編成されています。情報の本質を理解し人間活動との関係を考える。情報システムとの関係が深い社会の仕組みについて学ぶ。経営上の課題や企業の組織について学ぶ。コンピュータやネットワークを使いこなす技術を習得

て企画、設計、運用によって社会や企業をリードしていくのに必要な知識と技術と人間性を併せ持つ人材の育成を目指しています。

野から自分に合った分野を選び、よりいつそう専門的な知識とスキルを高めていきます。

具体的には、基礎科目に政治学、法学、マクロ・ミクロ経済学、心理と行動、コミュニケーション能力と専門用語を学ぶ英語を中心とした語学などが充実して学べます。情報関連、専門科目では人間・社会情報システム、コンピュータシステム、マーケティング、経営と組織・情報、行動科学、流通と物流、経営情報・地域情報システム、ベンチャービジネスなどと多彩です。さらに基本から専門まで、目的

し発展の可能性を学ぶ。そして物事の仕組みをシステム的に考え、データを重視した論理的な判断ができる基礎的な力を育成します。そしてさらに情報システムを「つくる」「つかう」の4つの専門分野から自分に合った分野を選び、希望を客観的に評価し、自分のレベルに適した授業を受けることができます。パソコン初級者がIT技術者になつた例も多く、コンピュータの基本的・専門的スキルと知識を身に付け、社会や企業に貢献できる情報・通信分野の即戦力が養成されています。

教員の顔ぶれも多彩で企業経験を積んだユニークな教員が少なくありません。例えば岸野清孝学科長は日立製作所、他にも三菱電機、NTT、NEC、オムロン、アイシン精機、日本たばこ産業、鉄道総研、日本総研、本田技研工業などなど。自らの経験や社会的なニーズを基にして、学生に身に付けてほしい技術をより実践的に教えることができます。

広がる就職・進路の選択肢



卒業後の進路（就職）も選択肢が広がってさまざま企業にも好評です。公務員、金融・保険、報道、流通販売、サービス業での事務、営業、企画部門はもちろん情報通信業種でのシステムエンジニアやプログラマーとしても多くが活躍しています。

岸野学科長は「文化系の特徴を生かした体系的にまとめられたプログラムで、広い見識と必要な技術が自然に身に付き、データを使いこなし経営判断できる人材が育つっている」と話し、さらに学生たちにコミュニケーション力、問題解決能力を磨き、これから社会に適応できる人間に育つてほしいと期待しています。

幅広いカリキュラムとユニーク教授陣

2つのイベントに参加、学んだ成果を披露

「青少年のための科学の祭典2011」新潟県大会が11月19・20日、新潟薬科大学で開催され、情報システム学科4年の星希美さん、同3年の神田優太さんと上杉沙綾さんと共に展示を行ってきました。

このイベントは、青少年が自分自身で実験や工作を体験し、科学の面白さを感じてもらうためのもので、平成4年から始まり、今年で20年目を迎えました。今回は2日間で約5千人の入場者がありました。

本学は「3Dプログラミング」というタイトルで展示をしま

青少年のための科学の祭典

した。「Processing」という新しいプログラミング言語を使い一からプログラムを作成する体験や、Microsoft社製ゲーム機の付属品である「Kinect」を活用し、自分が動く様子をさまざまな角度から表示す



「3D表示」ゲーム感覚で体験 来場者が技術の楽しさ実感

る「3D表示」を来場者に体験してもらいました。

3D技術を用いることで、自分の前から撮影しているにもかかわらず、後ろから見た場合の図を見ることが出来ます。このような技術を来場者にはゲーム感覚で体験してもらい、技術の楽しさを実感してもらえたと思っています。

(情報システム学科・講師 中田豊久)

「デジヨングランプリ」3年連続入選



地図でも案内 iPhoneアプリ

温泉施設情報は、上越・中越・下越・佐渡の地域ごとに分類され、さらに各市や村ごとにリストによって表示されます。各施設では、温泉に関する情報だけでなく、その場所を地図で表示できるようになっていて、実際に日帰り温泉に出かける際に、iPhoneを持っていくと役に立つようになっています。このiPhoneアプリケーションは、大学にあるMacBookやiPod touchなどを使用して開発を行いました。この賞を頂けたことは、大学をはじめとする多くの方々のおかけだと思っています。ありがとうございます。

今年は「日帰り温泉ナビ」

「新潟国際ビジネスメッセ2011」が10月27・28日、新潟市産業振興センターで開催され、情報システム学科4年の田中一麻さん、山田貴幸さんと、同3年の神田優太さんと上杉沙綾さんと共に参加しました。ビジネスの拡大につながる最新の技術やサービスがさまざまな企業や大学から展示されます。本学では、教員と学生が共同して開発したソフトウェアについて展示を行っています。情報シス

新潟国際ビジネスメッセ



実社会で生かすソフトを開発・展示

テム学科では、講義演習などでプログラミング技などを試みる取り組みを行っています。その例として、地域の企業と共に同でソフトウェア開発をしたり、iPhoneアプリケーションを開発したりしてフリーソフトとして公開していく取り組みなどを紹介しました。来場した幾つかの企業担当者から興味を示してください、今後につながる貴重なご意見をいただきま

した。最初に作品を応募したのは一昨年の大学2年生でした。その時は「砂金採り」というアプリケーションを6人のチームで作成しました。この砂金採りも入選ましたが、プログラムなどほとんどは先輩が作成していたので、自分はあまり貢献することができませんでした。次いで昨年は「蚊とり」という名前のゲームを作成し入選しました。この蚊とりは自分で考え、プログラムのほとんどを作ることができました。が、デバッグなどでは、先生にアドバイスしていただきました。そして今年は、最初から最後まで1人で作品を完成させることができました。この3年間、続けて入選できとてもうれしく思います。

この「にいがた日帰り温泉ナビ」は、新潟県内の日帰り温泉施設を探すことのできるiPhoneアプリケーションです。この「にいがたデジヨングランプリ」は、新潟のデジタルコンテンツ制作の人材育成、地域の活性化、地域文化への貢献を目的として2001年から開催されているコンテストです。この中のスマートフォンアプリ部門に「にいがた日帰り温泉ナビ」という名前のアプリケーションを応募し、入選することができました。

情報システム学科4年 星 希美

慶熙大学と 学術交流



2教授を招き「異文化交流」をテーマに

ある韓国の慶熙大学の提携校である。国際教育院よりお二方の教授をお招きし、11月25日、国際交流センターで「異文化理解」をテーマとする学術交流が行われました。当日は会場がほぼ満員になるほど、多くの教員および学生が参加しました。また、研修生の黄恩美(ファンウンミ)さんが通訳(ファンウンミ)さんを、申ゼミの学生たちにレジュメの翻訳をそれぞれ担当していただきました。

韓国文化を研究される趙顯龍(チヨヒヨニヨン)教授は、「さじ(匙)と情一文化の疎通」というテーマで講演されました。趙教授は日本や中国と異なる韓国の食文化の特徴をスープに入れて食べる場合が多いため、匙でご飯を

「文化は平和だ」お互いを理解し行動を

(情報文化学科・教授)
吉澤文寿

食べるなど興味深い事例をたくさん紹介しました。その上、趙教授は文化を通してお互いを理解し、平和のために行動してほしいと強調されました。「文化は平和だ」「情は、全ての人を幸福にする」などの言葉がとても印象的でした。

また、韓国語誤用例分析を専門とする李定喜(イジョンヒ)教授は、「韓国語のプログラム運営の経験を通じてみる日本人留学生の意識変化」と題して講演されました。長年にわたり日本から来た学生をご覧になつてきた李教授は、最近の日本人学生が韓流の影響を受けたり、進学を目的として韓国語を学んだりして韓国人と一緒に行動様式の違いを面白く紹介されました。そして、李教授は日本の学生に向けて、授業時間に間違つてもいいから熱心に韓国語を話してほしいと期待されいました。お二人の講演は興味深いでできました。今回のセミナーを支えてくださった霧団気で大切な話を聞くことができました。今回のセミナーを支えてくださった霧団気で大切な話を聞くことができます。

（情報文化学科・教授）
吉澤文寿

生命に潜む情報アルゴリズムの解明と応用

情報システム学科・准教授 近山 英輔

人間も含めた生命が、コンピュータ言語に似たプログラムに従って活動していると聞いたら驚かれるでしょうか。そのような情報処理アルゴリズムは生体物質の運動と化学反応で実装され、重要な生命機能を担うことが、近年の分子レベルの研究で分かってきました。私は、その中でも未知の意識変化と題して講演されました。長年にわたり日本から来た学生をご覧になつてきた李教授は、最近の日本人学生が韓流の影響を受けたり、進学を目的として韓国語を学んだりして韓国人と一緒に行動様式の違いを面白く紹介されました。そして、李教授は日本の学生に向けて、授業時間に間違つてもいいから熱心に韓国語を話してほしいと期待されいました。お二人の講演は興味深い話題をふんだんに採り入れてくださいました。今回のセミナーを支えてくださった霧団気で大切な話を聞くことができました。今回のセミナーを支えてくださった霧団気で大切な話を聞くことができます。

生命は約40億年前に生まれたといわれています。生まされたといわれています。生命的起源は生物学究極の謎です。その後、30億年前に真核生物、20億年前に原核生物、10億年前に多細胞生物が出現し、進化の過程でさまざまな情報アルゴリズムを多様化させています。原核生物の大腸菌は100種、人間の細胞は約10万種の生体物質のネットワークによる協調作業で活動します。前者は100個の、後者は10万个のオブジェクトが相互通信し、協調動作するソフトウェアシステムのようになります。大腸菌は単細胞ですが、人間は多細胞生物で、先細胞オブジェクトが100兆個

生成され、機能分担して動作するシステムです。このような極めて複雑な生命システムをコンピュータで厳密にシミュレートすることは到底不可能ですが、精度を大幅に犠牲にすれば、数学モデルが計算量を減らし、PCでの理論的解明を目指し、さらにそれをコンピュータ言語に翻訳して情報システムに応用することを目指しています。

人間も含めた生命が、コンピュータ言語に似たプログラムに従って活動していると聞いたら驚かれるでしょうか。そのような情報処理アルゴリズムは生体物質の運動と化学反応で実装され、重要な生命機能を担うことが、近年の分子レベルの研究で分かってきました。私は、その中でも未知の意識変化と題して講演されました。長年にわたり日本から来た学生をご覧になつてきた李教授は、最近の日本人学生が韓流の影響を受けたり、進学を目的として韓国語を学んだりして韓国人と一緒に行動様式の違いを面白く紹介されました。そして、李教授は日本の学生に向けて、授業時間に間違つてもいいから熱心に韓国語を話してほしいと期待されいました。お二人の講演は興味深い話題をふんだんに採り入れてくださいました。今回のセミナーを支えてくださった霧団気で大切な話を聞くことができました。今回のセミナーを支えてくださった霧団気で大切な話を聞くことができます。

桑原 恵(情報システム学科・教授)

・(2011年5~7月)新潟県予算編成システム開発運用業者選定委員

佐々木 寛(情報文化学科・教授)

・New Ideas of "Security" in East Asia: On the Proposed Program of the Host University, Peace Studies Bulletin, No.30, October 2011, Peace Studies Association of Japan, pp.11-13.

・(2011年10月19日)講演:新潟で核問題を考える(新潟県立大学公開講座)新潟県立大学

・(2011年10月19日)講演:原発と民主主義(「さようなら原発1000万人署名 新潟市民の会」主催)新潟テルサ

・(2011年11月1日)解説:ビルマの民主化と日本の位置(アムネスティ・インターナショナル創立50周年全国スピーチングツアー トウインリン・アン氏の講演に際して)クロスパリ

- ・(2011年11月9日)講演:大学に行こう—人生を真剣に考える人へ 県立卷高校
- ・(2011年12月3日)書評:「暴力」を包囲する—なぜ学問は越境しなければならないのか(小林直樹『暴力の人間学的考察』岩波書店2011年)『図書新聞』3040号
- ・(2011年12月4日)司会:平和/平和研究の再定義—沖縄で考える(日本平和学会主催報告:島袋純・福本主介)沖縄大学
- ・(2011年12月10日)講演:東日本大震災に学ぶ原子力発電の安全と危険(有明自主防災会主催)有明福祉会館

近山 英輔(情報システム学科・准教授)

- ・(2011年12月)「Jessup 2012 国際法模擬裁判大会」の書面裁判官を務める
- ・(2011年9月26~27日)バイオスペーカンピューティングサマースクール2011実行委員(淡路夢舞台国際会議場)

私の研究テーマ

「阿賀に生きる」「わが街わが青春:石川さゆり水俣熱唱」を上映

2011年
「映画の中の
市民社会」

「水俣病」理解へ新潟市と共催

新潟市の市民映画館シネ・ウイングで上映される映画を題材として、本学の中央キャンパスで連続講義を行い、市民社会のあり方について議論しようというのだ。これまで「差別」「暴力」「ジエンダー」といったテーマのもとに映画が選ばれてきたが、今年は11月26日から新潟市との共催によって「水俣病」を理解するためのイベントの一環として開催されることになった。

上映された映画は2本である。まず新潟水俣病に関する映画を代表する、「阿賀に生きる」。続いて「わが街わが青春・石川さゆり水俣熱唱」が上映された。胎児性患者が石川のコンサートを水俣で実現させるまでの記録である。

特別編の今年は講座の方式も変更された。まず本学の平山征夫学長とFMポートDJの遠藤麻理氏によるトークライブが開催された。元県知事である平山学長が水俣病という事例だけでなく、ハンセン病患者の置かれた状況などにも

言及しながら「明日へつながる希望」について語った。

遠藤氏も自らの個人的経験を紹介しながら、「救済」ということにについて応答した。



「希望」「救済」「生きづらさ」…充実した意見交換

(情報文化学部・教授 越智敏夫)

〈特別編〉Otaru agari 命の阿賀へによせて

教員の活動 (2011年下半期・本人申告による)

1) 研究論文・図書

安藤 潤(情報文化学部・准教授)

- Ando, J. (2012) "Dual-Earner Couples' Housework Behavior in Japan: Exchange, Display, or 'Her Money?'. Cornell University CSES Working Paper No.61, pp.1-27.
- Ando, J. (in press) "Identity and Couples' Housework Sharing: A Virtual Experiment on Husbands' Gender Display." The Japanese Economy, Vol. 38, No. 3, Fall, pp. 3-29.

區 建英(情報文化学部・教授)

- (2011年7月20日)『東アジアのナショナリズムと近代』(大阪大学出版会)全345ページ(三人共著、區が3分の1を執筆)
- (2011年10月)論文『中国における「自由」の受容—伝統の位相と歴史の「会通」』大妻女子大学草稿・テキスト研究所『研究所年報』第4号(45~53ページ)

小山田 紀子(情報文化学部・教授)

- (2011年10月20日)パンジャーマン・ストラ著、小山田紀子・渡辺司訳『アルジェリアの歴史—フランス植民地支配・独立戦争・脱植民地化』明石書店(701ページ)

神長 英輔(情報文化学部・准教授)

- (2011年)「開かれた海の富と流刑植民地 日露戦争直前のサハリン島漁業」原暉之編著『スラブ・ユーラシア叢書10日露戦争とサハリン島』北海道大学出版会(65-95:450)

熊谷 卓(情報文化学部・准教授)

- (2011年9月)小寺ほか編著『国際法判例百選』 有斐閣「対テロ戦争」へのジュネーブ諸条約の適用—ハムダン事件』(224~225ページ)

小林 元裕(情報文化学部・教授)

- (2011年11月12日)「華北社会の変容と通州事件」(国際ワークショップ『日中全面戦争と地域社会変容』)新潟大学人文学部

佐々木 寛(情報文化学部・教授)

- (2011年7月16日)<和平研究>の再定義—「政治的アリズム」との節合について(日本和平学会)広島修道大学
- (2011年10月31日)「国際共生」概念の積極的な意義について(大阪女学院大学国際共生研究所シンポジウム)大阪女学院大学

近山 英輔(情報システム学科・准教授)

- (2011年9月17日)「連続体のパターン選択を考慮した運動方程式の近似表現」(第49回日本生物物理学会年会)兵庫県立大学
- (2011年9月26日)「連続体力学における生化学パターンの考察」(バイオスーパーコンピューティングサマースクール2011)淡路夢舞台国際会議場

藤瀬 武彦(情報システム学科・教授)

- (2011年9月25日)日本体育学会第62回大会(鹿屋体育大学)演題「女子学生における交際相手の有無による理想体型の比較」

3) その他

臼井 陽一郎(情報文化学部・教授)

- (2011年10月2日)パネル「地域主義再考:誰がアクターか—サブリージョナリズムの可能性」のコメントーター(北東アジア学術研究会)北海学園大学・北海商科大学
- (2011年11月12日)パネル「EU域内・域外政策の分析」のコメントーター(日本国際政治学会研究大会)つくば国際会議場

越智 敏夫(情報文化学部・教授)

- (2011年10月8日)日本政治学会研究大会でのパネル討論者 自由論題(西洋政治思想史)岡山大学
- (2011年10月9日)日本政治学会研究大会でのパネルの企画およびチア(政治理論の方法)岡山大学
- 社外編集委員として新聞論説記事連載「新潟日報」連載記事「社外編集委員の目」「時々草々」

神長 英輔(情報文化学部・准教授)

- (2011年8月27~28日)国際シンポジウム「海峡をまたぐ歴史」(主催:稚内北星学園大学・共催:北海道大学GCOEプログラム「境界研究の拠点形成」後援:稚内市・猿払村・サハリン・樺太史研究会)第1部「海馬島(モネロン島)の歴史」討論者。稚内北星学園大学

燕喜館にてお点前披露



私たち茶道部は11月28日に「学生茶会」に参加し、お茶点てを行いました。毎年恒例のイベントで、新潟大学や新潟県立大学など他の大学の茶道部と合同で行っています。場所は白山公園の近くにある「燕喜館(旧斎藤邸)」と「北方文化博物館新潟分館」の2会場で、私たちも燕喜館で活動をしました。

普段の大学で使用するお部屋とは雰囲気がまるで異なるため、部員一同、不安というフレッシュ感を感じつつも日頃のお点前を披露しました。「緊張する」と「北方文化博物館新潟分館」の2会場で、私たちも燕喜館で活動をしました。

私たちも燕喜館で活動をしました。普段の大学で使用するお部屋とは雰囲気がまるで異なるため、部員一同、不安というフレッシュ感を感じつつも日頃のお点前を披露しました。「緊張する」と「北方文化博物館新潟分館」の2会場で、私たちも燕喜館で活動をしました。

毎年恒例の「学生茶会」に参加 日々精進し茶道の精神養う

同じじのだから、変に気を張らないようすればきっと大丈夫です」と、イベント前に稽古に来てくださいました。先生。その言葉が私にとっては落ち着きを取り戻せるきっかけとなり、時間の経過とともに徐々に冷静な対応をすることができました。また、メンバーも一つのお点前(お茶を点てる)終わらせしていくことで、自分が次にどう行動すればよいか、何をしたら次の人準備時間を効率良くできるかを考え動いてくれました。

今年は、地域の方や毎年楽しみにしている方々など50人以上がお越しくださいました。その中には他大学の部の方々の姿もあり、学生間での交流という意味でも、貴重な経験を得られた場であったと思思います。これからも日々精進していくことを忘れることなく、加えてチャレンジ精神と茶道に対する知識も養つていきながら、私たち表千家茶道部は頑張つています。

ロシア語スピーチコンテストに参加して

情報文化学科2年 高橋 茉由

かつて、ロシア人の先生がこうおっしゃったことがあります、「ロシア語は複雑に変化する言語だから、これが理解できるのは、すごいことですよ」と。ただでさえも頭を抱えるような変化の数々に、本場のロシア人の先生までがそうおっしゃるのですから間違ひありません、ロシア語は難しいのです。

いった流れからなります。審査員は全員ロシア人の方々です。これまで自分が学んできたロシア語を発表するに当たって、こんなに恵まれた場は一生に何度もないでしょう。特に私は、教科書を読んでいるだけでは一向にそれらを覚えることができません。何かしら口に出して話さなければ身に付かない性質なのです。そ

難しいからこそ挑戦と刺激

そのロシア語のスピーチコンテストに「面白そだから」「いい経験になりそだから」という抽象的な理由から出場を決めました。幸いにも、私はこれらを両方とも具体的な形でかなえられることとなります。

このコンテストは、主に自分の自己紹介から始まり、メインであるスピーチ、それについての質疑応答と

んなわけで、今回あの場でロシア語を実践できたことは本当にいい刺激になりました。

飽和していた頭には、あのくらい緊張感に満ちた場がちょうどよかったです。質疑応答の際には、質問の意味が把握できずに見苦しいところをお見せしてしまいました。過去のロシア語の授業で習っ



たことを、数秒で巻き戻していたあの時間…でも、それが一番の思い出です。忘れませんとも。

最後に、私のロシア語学習に携わってくれた小澤先生、神長先生、プラソル先生、中谷先生、一緒にロシア語を勉強している友達、コンテストの祈願に行った春日山神社に眠る謙信公、Большое спасибо。皆さんへ感謝の気持ちを、このような大きな場に載せていただきとてもうれしく思います。

新潟に来て10年が過ぎた。当初、外食が多かった。自分はもう慣れてしまつた。また「県外で食べたご飯は旨くなかった」と新潟の人からはよく聞かれる。やはり新潟の米は旨いに違いない。

初対面であり、こちらはあまり話し上手ではない。しかし相づちだけでは愛想がないので、「新潟で面白そなところはどこですか」と聞いてみる。返事はだいたい決まって「さあ」とある。飲食店の人には話しかけられるが、新潟市中心部から遠くない範囲では思い当たらないようである。そして「佐渡島…くらいかねえ」となる。

これが、自他共に認める「観光地」では、答えは全く違つてくる。「この辺なら○○」「足を延ばせば××」と明確な応答がある。行き方まで教えてくれるところも少なくない。しかし、特に「この辺なら××」の類いは、行つてみると「えつ!これだけ?」と言つてしまいそうになるものが少なくない。

それによれば、「新潟」には立派に紹介できるところがたくさんあるではないか。駅でもらえる観光ガイドブックなどには、幾つもの「みどころ」(不公平になると困るのであえて具体的なことをとどける)が紹介されている。新潟を知らない人に面白そなところを発見してもらい、その貴重な情報を新潟の人で共有するような事業はできないものであろうか。いろいろ知恵を絞れば、新潟では、観光の活性化の余地がまだあります。

ゆう
源げん

編集後記に代えて

広報委員長 桑原 悟

毎年恒例の企業懇談会
は1月6日、A町

クラウンプラザホテル

た。本年度は、3月に発生した東日本大震災

機、円高など経済状況

227社・328人の
していただきました。

第1部では、平山征
年次生の就職活動が12

次生に対しても触れ、また採用の問題、そ

また、本学の建学理念にも触れ、国際化・情

活躍できる人材をつく

らえることや、高等教

1

四
中

2月3・4日の2日間

が見込めない状況では

、二社、県内最大規模

いたたき 興田量介
著 著者

就職活動の視野を広げよう

自己アピールのチャンス

**学内合同企業説明会
2月3日・4日に開催**

た、企業からの参加依頼も多く、本学学生への期待度が高いことを示しています。

今年より就職活動は12月1日から開始され、翌年4月1日以降の選考開始になります。前年に比べ企業選択の期間が短縮したことや就職ガイダンスの日程が過密になり、

その事によつて、企業研究はもちろんスケジュール管理も重要なポイントになります。また、新卒採用選考に当たつて多くの企業は、コミュニケーション能力や主体性と人間力を求める傾向が高く、さらに専門性や職業・就労意識など社会で働くために必要なスキルが重視されています。

この機会に企業人事担当と関わりを持ち、就職活動の相手を広げ、自己アピールをする絶好のチャンスだと思います。多くの皆さんが積極的に参加し、就活力をつける場になることを期待しております。

24年度 入学者選抜試験概要（要約一覧）

※詳細は本学学生募集要項でご確認ください。※出願期間は消印有効。

入試区分	募集人員	出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格者発表日	入学手続期間	
一般入学試験	前期	情報文化学科 35 情報システム学科 60	95	24年 1月 5日(木) 1月21日(土)	新潟 上越 長岡	・国語：国語総合(現代文)・現代文 ・数学：数学I・数学II（数学IIは微分・積分を除く） ・外国語：英語I・英語II 上記3教科の中から2教科以上を選択(3教科受験した場合は高得点の2教科を合否判定に使用。)	24年 2月 7日(火)	24年 2月 7日(火) 2月16日(木)
		情報文化学科 15 情報システム学科 20	35	24年 1月27日(金) 1月14日(土)、15日の 大学入試センター試験を 受験していること	24年 1月14日(土)、15日の 大学入試センター試験を 受験していること	学科試験を課さず、平成24年度の大学入試センター試験の成績で判定、各学科の利用教科・科目の中から2科目選択 配点：各教科100点(3科目以上受験した場合は高得点の2科目を合否判定に使用。国語は近代以降の文章のみ利用。外国語(英語)はリスニングを含む。) ※各学科の利用教科・科目の詳細については、学生募集要項をご確認ください	24年 2月21日(火)	24年 2月21日(火) 3月 6日(火)
	後期	情報文化学科 10 情報システム学科 15	25	24年 2月14日(火) 3月 1日(木)	24年 3月 9日(金)	新潟	・国語：国語総合(現代文)・現代文 ・数学：数学I・数学II（数学IIは微分・積分を除く） ・外国語：英語I・英語II 上記3教科の中から2教科以上を選択(3教科受験した場合は高得点の2教科を合否判定に使用。)	24年 3月13日(火)

- ## 本学独自の 奨学生制度(給付)

- 学費特別給付奨学金(前期入試受験者対象)授業料全額又は1/2
 - 資格取得奨励奨学金(全学年対象)I種5万円、II種2万円
 - 表彰奨学金(2~4年生対象)10万円~30万円
 - 学費臨時給付奨学金(全学年対象)授業料・施設設備費の当該期分全額又は1/2
 - 海外派遣留学・海外研修奨学金(2年生対象)15万円~23万円

◎入試と奨学金の詳細については入試・広報課までお問い合わせください。TEL025-239-3111 E-mail nyushiweb@nus.ac.jp

本学と新潟日報の連携講座



「わが映画人生」

映画評論家・佐藤忠男氏を迎える

が「映画人生」と題し、少年時代からの映画一筋の人生と独自の視点を披露し、世界の文化を熱く語りました。佐藤氏は入舟軍少年兵（予科練）14歳で終戦を迎

國の力で
したいと
して、
出で海
転機となつたのは戦後公
開の米映画「春の序曲」で、
少女(婦人)に笑顔で接する
男性のシーンに、日本の男
とは違う別世界のモラル、
道徳教習

平和を伝える映画の力 故郷で独自の視点を披露

説しました。
知られてない
アジア映画を發
掘し国際交流甚

新潟市出身で日本を代表する映画評論家・佐藤忠男氏（81）を招いて、本学と新潟日報の連携講座が12月4日、新潟中央キャンパスで開かれました。日本映画

所に入るも人員整理となり、電電公社(現NTT)の正社員を目指して定時制高校(現市立高志高)に通いながら映画館に入りびたり、既に文筆での映画の道を目

アメリカンスピリットがカルチャーショックでした。立派な男・立ち役の違いが儒教倫理や騎士道精神にあって、古典的西部劇「シェーン」と股旅もの「沓掛時次

情報システム学科2011年度卒業 吉原 彰人

私は株式会社マルタケという医薬品卸売の会社で、入社1年目の営業として南魚沼市の塩沢・湯沢エリアを回っています。学生の皆さんだとイメージしにくい仕事かもしれないが、私どもはMS(マークティングスペシャリスト)と呼ばれ、ただ医薬品を医療機関に納入して終わるではなく、医薬品メーカーの営業「医薬情報担当者=MR」の方たちと一緒に協力し、より最適な医薬品を患者さんのために提案できる仕事をしています。何よりじつとしているのではあります。

学生時代のゼミ(小宮山智志准教授)では、「営業マンの仕事満足度に関係する要因」について研究していました。何よりじつとしているのではあります。

最適な医薬品を患者さんのために



実際に現場で営業活動を行い約5ヵ月がたちましたが、イメージと違うこともあり、正直毎日がうまくないことにだらけです。何回もへこみ、嫌なこともあります。得意先に行きたくないと思うこともありますが、その反面、不思議な事に得意先から元気をいたたくことがたくさんあります！出来ないなりに「得意先に貢献したい」という気持ちを持ち続いていることが相手に伝わっているのでしょうか？「頑張つていいから新薬の注文出してあげるよ！」などとドクターからお声掛けいただけたときは本当に感無量です。

これから経験豊富なライバルとシェア争いをしていきますが、私は自分なりに得意先のためになる行動・努力をコツコツしていき、いつかはこのエリヤの一番の存在になりたいです！

荒天に負けずキャンパスにぎわう

宗実行委員長 情報文化学科3年 木村 貴志 第18回紅翔祭（10月22、23日）を皆さまのご協力により無事終えることができました。豪雨と強風で天候には恵まれませんでしたが、それでも例年に負けないほど多くの来場者と学生の声で構内はにぎわいました。父母会と同窓会のご後援による文化講演会では、経済アナリストの森永卓郎氏をお招きし、現在の日本経済における問題点を軽妙な語り口でお話ししていただきました。会場には多くの人が集まり、時折笑い声が湧き上がりました。U字工事・トツプリード・いもようかんによるお笑いライブが開催され、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。みづき会（同窓会）主催による恒例のみづき野クリーンアップ大作戦と就活喫茶も開催されました。本番までの準備期間中はとても不安な気持ちでいっぱいでした。寝ても起きても、眼前には山のように多くの問題を突き付けられていました。そんな気分で、何度も挫折しそうになりました。そんな生活の中、私は多くの実行委員や友人知人に支えられ、無事に役目を務めることができました。反省すべき点が多かったです。ですが、今年を乗り越えた後輩はきっと来年素晴らしい紅翔祭にしてくれることでしょう。皆さん、来年度もぜひご期待ください！



紅翔祭を終えて